

## 令和7年3月新規学校卒業予定者等の良質な求人の確保について

謹啓 初夏の候、貴殿におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から県内雇用施策の円滑な推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

最近の県内雇用失業情勢につきましては、過日発表された令和5年度平均の有効求人倍率は、1.26倍と、前年から0.15ポイント低下し、3年ぶりに全国平均を下回る状況となりました。

令和4年度後半に始まった半導体需要の落ち着きとともに、半導体関連の求人抑制がみられ、令和5年度以降も製造業の一部を中心にしばらく改善の動きに弱さが続いており、エネルギー価格や物価高騰などの影響が求人を下振れさせるリスクなど事業主都合による離職者の動向に引き続き注視していく必要があります。

その一方で、多くの産業で人手不足との声が寄せられ、人材確保は喫緊の課題となっており、新規学校卒業者に寄せられる期待は大きくなっています。

令和6年3月新規高等学校卒業者の求人倍率は3.71倍と過去最高を更新し、また、令和6年3月に県内の学校を卒業した大学生等の就職率は93.5%、高校生に至っては98.6%と、昨年度をやや下回るものの、高い水準で推移しており、これは貴会並びに会員企業の皆様方の深い御配慮の賜であると改めて感謝申し上げます次第です。

新規学校卒業者等への支援については、山梨労働局では「甲府新卒応援ハローワーク」を始め、各ハローワークと学校及び関係機関との連携を更に深めるとともに、若者の雇用管理状況が優良な中小企業を積極的にPRする「ユースエール認定制度」の活用推進や求人票と一体となった企業情報の発信等を通じて、若者と中小企業とのミスマッチの解消を進めるなど、新規学校卒業予定者等の就職及び求人企業の円滑な人材確保に全力を挙げて支援してまいります。

また、県としても、就職希望者と企業とが一堂に会し面接を行う「合同就職フェア」を実施するとともに、「やまなし暮らし支援センター」等において大学生等のU・Iターン就職支援を行っております。更にインターンシップ・就業体験を促進するための相談窓口の設置やマッチングサイトの構築など、大学生等の新規学校卒業者等の就職支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、県教育委員会としても、各学校におけるキャリア教育の充実に努めるとともに、就職支援教員の配置、ハローワークやジョブカフェとの連携、進路指導主事、就職指導担当者による情報共有、学校と企業団体による情報交換の実施、インターンシップの推進や「工業系高校生基幹産業担い手育成事業」による技術力向上など、高校生への就職支援体制を強化してまいります。

本年も、ハローワークにおいて、4月1日から令和7年3月新規大学等卒業予定者対象の求人の公開を開始しており、令和7年3月の新規高等学校卒業予定者を対象とした求人も、例年どおり7月1日からの一斉公開に向け6月1日から受理を開始いたしました。

新規学卒者向けの求人数が増加傾向にありますが、新規学卒者等が早期離職をせず、能力を発揮して働き続けていくためには、引き続き、学生・生徒の希望に応じた、また、キャリアアップが見込まれる良質な求人の確保が必要です。

少子化に伴い若年労働力人口が減少する中で、次代を担うべき若者が安定した雇用の中で経験を積み重ねながら職業能力を向上させ、働きがいをもって仕事に取り組んでいくことが重要となっております。そして、一人でも多くの新規学校卒業予定者等が円滑な就職活動を行い、希望する職業に就けることが求人企業の人材確保に繋がるものと考えております。

貴会並びに会員企業におかれましては、本趣旨を御理解の上、学生・生徒が希望する職種や労働条件の確保、また、将来を見据えた的確な採用計画に基づく早期求人提出について特段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和6年6月7日

山梨労働局長 高西 盛登



山梨県知事 長崎 幸太郎



山梨県教育委員会

教育長 降 籬 友宏



山梨県経営者協会

会長 佐々木 宏明 殿